

2021年2月12日

エリアリンク株式会社
証券コード 8914 東証第二部



2020年12月期 第4四半期 決算サマリー

■2020年12月期 通期業績 ほぼ予算通りの結果、減収減益だが黒字転換実現

単位:百万円	2019年12月期		2020年12月期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	29,333	—	22,477	—	△ 23.4%
売上原価	22,669	77.3%	16,977	75.5%	△ 25.1%
売上総利益	6,663	22.7%	5,499	24.5%	△ 17.5%
販管費	3,633	12.4%	3,223	14.3%	△ 11.3%
営業利益	3,030	10.3%	2,275	10.1%	△ 24.9%
経常利益	3,000	10.2%	2,161	9.6%	△ 28.0%
特別損益	△ 5,861	—	1,123	5.0%	—
税引前当期純利益	△ 2,860	—	3,284	14.6%	—
当期純利益	△ 1,753	—	2,225	9.9%	—

■2020年12月期 下期（6か月）業績 増収増益、利益率大幅改善

単位:百万円	2019年12月期		2020年12月期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	9,187	—	10,685	—	+ 16.3%
売上原価	7,255	79.0%	8,175	76.5%	+ 12.7%
売上総利益	1,931	21.0%	2,510	23.5%	+ 30.0%
販管費	1,536	16.7%	1,490	13.9%	△ 3.0%
営業利益	395	4.3%	1,020	9.5%	+ 157.6%
経常利益	527	5.7%	944	8.8%	+ 79.0%
特別損益	△ 5,848	—	1,122	10.5%	—
税引前純利益	△ 5,321	—	2,066	19.3%	—
純利益	△ 3,439	—	1,394	13.1%	—

■2020年12月期 下期 セグメント別概況

下期（6か月間）：ストレージ運用が大幅増益、底地事業は利益率低下

単位:百万円			2019年12月期3-4Q		2020年12月期3-4Q		前年同期比
			実績	売上比	実績	売上比	
ストレージ運用	売上高	6,508	—	7,158	—	+ 10.0%	
	売上総利益	1,285	19.8%	2,008	28.1%	+ 56.2%	
	営業利益	712	11.0%	1,399	19.5%	+ 96.3%	
ストレージ流動化	売上高	987	—	176	—	△ 82.2%	
	売上総利益	98	10.0%	35	20.3%	△ 63.7%	
	営業利益	△ 135	—	△ 79	—	△ 41.6%	
ストレージ事業	売上高	7,495	—	7,334	—	△ 2.1%	
	売上総利益	1,384	18.5%	2,044	27.9%	+ 47.7%	
	営業利益	576	7.7%	1,319	18.0%	+ 128.8%	
土地権利整備事業 (底地)	売上高	782	—	2,580	—	+ 229.7%	
	売上総利益	206	26.4%	264	10.2%	+ 27.6%	
	営業利益	98	12.6%	94	3.7%	△ 4.0%	
その他不動産運用 サービス事業	売上高	909	—	770	—	△ 15.2%	
	売上総利益	340	37.5%	202	26.3%	△ 40.6%	
	営業利益	257	28.3%	148	19.2%	△ 42.5%	
管理本部	売上高	—	—	—	—	—	
	売上総利益	—	—	—	—	—	
	営業利益	△ 536	—	△ 542	—	+ 1.0%	
全社	売上高	9,187	—	10,685	—	+ 16.3%	
	売上総利益	1,931	21.0%	2,510	23.5%	+ 30.0%	
	営業利益	395	4.3%	1,020	9.5%	+ 157.6%	

ストレージ事業は運用が大幅増益で増収増益の結果

- ・ストレージ運用 予算達成し増収増益。事業利益のほぼすべてを運用で稼得

下期6か月間の売上高71億58百万円（前年同期比10.0%増収）、事業利益は13億99百万円（同96.3%増益）と大幅増収増益の結果。出店総室数が97,885室まで増加（19年12月末比+1,818室）。稼働率は80.66%と、3.82%pt増（19年12月末比）で過去10年間で最高水準。コンテナ買戻し、地代減額要請による原価低減等により売上総利益率が8.3%pt改善したことが主要因

- ・ストレージ流動化 自社投資へ移行したため減収減益も予算達成

下期6か月間の売上高は1億76百万円と前年同期比で大幅減収の結果。下期6か月間では、土地付きストレージ1物件、コンテナ受注2件を計上

土地権利整備事業：増収減益の結果。在庫圧縮の影響で利益予算は未達

下期6か月間の売上高は25億80百万円（前年同期比229.7%増収）、事業利益は94百万円（同4.0%減益）の結果。在庫圧縮のため仕入を停止し、滞留在庫の販売促進により、利益予算は未達の結果

■2020年12月期 通期 買戻損失引当金の推移とコンテナ買取の状況

- 1年間でおおよそ25%（金額ベース）の対象コンテナを買取、今年も交渉継続

1年間で金額ベースで25%にあたる12.8億円（引当金ベース）を買取実施、買取不要と意思表示のあったお客様にかかる引当金等の戻り益14.8億円を特別利益に計上。期末の引当金残高は23億円と1年間で半減以下の結果。2021年も個別にお

お客様との交渉を継続する

■2021 年業績予想：2021 年業績予想とあわせて中期経営計画を発表

単位:百万円	2020年		2021年		2022年		2023年	
	実績	利益率	計画	利益率	計画	利益率	計画	利益率
売上高	22,477	—	19,700	—	21,800	—	23,800	—
営業利益	2,275	10.1%	2,500	12.7%	2,800	12.8%	3,200	13.4%
経常利益	2,161	9.6%	2,400	12.2%	2,700	12.4%	3,100	13.0%

ストレージ 新規出店室数*	2,780室	1,000室	2,800室	3,700室

*解約は除く

本日、2021 年度業績予想と合わせて3か年の中期経営計画（2023 年度まで）を発表。ストレージ運用利益を中心に増収増益を目指し、毎年 10%以上の増益及び利益率の改善を見込む。事業拡大のカギとなるストレージの新規出店室数は、2021 年度はコロナ禍の影響を見極めるために 1,000 室と堅実な数字としたが、その後 2022 年度で 2,800 室、2023 年度で 3,700 室と着実に増加する計画

■配当予想：2020 年度の配当は予想通り実施、2021 年は3円の増配

2020 年度の利益に基づく配当は、従来予想通り 31 円/株を実施予定

2021 年度の配当は 34 円/株（+3 円の増配）、配当性向は 30.7%を予想

	2020年(予定)	2021年(予想)
1株当たり配当金(円)	31.0	34.0
配当性向	17.6%*	30.7%

*19 年にコンテナ買戻しの引当金計上に伴う特別損失を除いた実績をベースに配当を実施したため、上記引当金の戻り益についても影響を除いて配当を実施予定

その他の IR 情報はこちら <https://www.arealink.co.jp/ir/> よりご覧いただけます。